



◇冬至の22日夜、広島原爆の残り火をキャンドルにともすイベントが日本と韓国の計22カ所であった。大阪の市民団体が日韓併合一

00年を機に企画し、一斉に平和を祈った。

◇火は旧日本軍の兵士が広島から持ち帰り、郷里の福岡県星野村（現八女市）で65年間ともされていたもの。若者らが首都圏や関西、韓国・ソウルや釜山などに届けた。

◇広島市の平和記念公園では、韓国人被爆者の慰霊碑前で参加者が「平和の火を心にともし続けたい」と点火し写真。冬の夜空の下、小さなぬくもりが日韓をつないだ。

【寺岡俊、写真も】